

ふれあうナカマ 育む 見守る

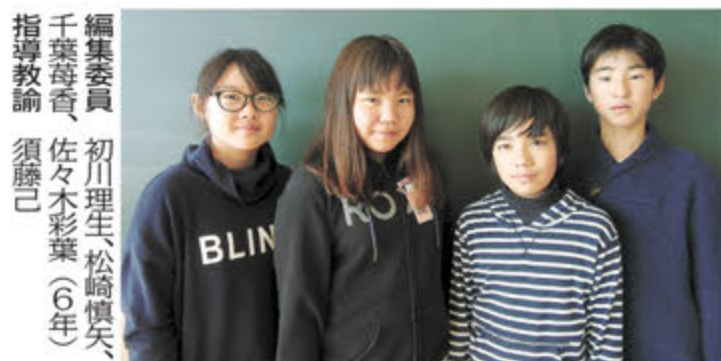


農民たちが寿庵に感謝を伝える感動の場面

宮沢小学校では毎年10月に学芸会を行います。今年も「本気で演技！みんなが主役の学芸会」をいきました。

その中で6年生は「宮沢開拓史〜後藤寿庵物語〜」を行いました。劇のもとなった題材は、約420年前の史実である宮沢地区のかんがい工事です。キリシタンである後藤寿庵を指導者に、宮沢の農民が団結して180メートルの潜穴を掘った、取水せきを作ったりして開墾、現在の田畑の礎を築きました。

この用水は今でも「後藤江用水」と呼ばれ、宮沢地域の田畑を潤しています。社会科で学んだことをもとに台本を考え、劇にして地域の皆さんに発信することができました。



編集委員 初川理生、松崎慎矢、千葉海音、佐々木彩葉(6年)指導教諭 須藤己

地域に発信

礎築いた開拓の歴史劇に

宮沢小

学校名 大崎市立宮沢小学校
所在地 大崎市古川宮沢新田町34
電話 0229(28)1605
校長 中路 淳子
児童 74人



花形種目未来へ

宮沢小の伝統の一つに鼓笛パレードがあります。毎年運動会の花形種目として、4〜6年生が演奏と隊形移動で地域の方々に笑顔にします。今年は校歌とケツメイシの「友よ〜この先もずっと〜」を披露し、たくさんの拍手をいただきました。卒業生も「これだけは」と見に来てくれる鼓笛パレードを、未来へつなげていきたいと思っています。



今回は
宮教大付属小(仙台市)
旭小(加美町)

黒松小

学校名 仙台市立黒松小学校
所在地 仙台市泉区黒松3の11の1
電話 022(233)8080
校長 桜場 直志
児童 535人



伝統ある鼓笛隊

私たちの学校には、昔から受け継がれてきた「鼓笛隊」があります。鼓笛隊は、運動会や1年生を迎える会などの行事のときに演奏します。たくさんの楽器の音色が重なり合って、とてもきれいです。毎年、6年生から5年生へ受け継がれます。「黒松小校歌」と「まつのみ児童会の歌」の2曲を、息を合わせて演奏します。

ふれあうナカマ 育む 見守る



防災教育の授業の様子。みんな真剣に聞いています

9月15日に「黒松小学校区総合防災訓練」が行われ、市内で強い地震が発生したという想定で訓練を実施しました。

まず初めに、上学年と下学年に分かれて、防災教育に関する授業を行いました。旧荒浜地域住民の方をお招きして、東日本大震災の当時のお話を聞きました。震災で発生した津波の恐ろしさや、生き延びるために自分たちができることを教わりました。

住民の方のお話は、私たちの心に響きました。児童の一人は「震災はとても悲しいものです。その中で、自分がどう行動するかが大切だと思います」と感想を述べました。

後半は、校庭で「濃煙体験」をしました。真っ



編集委員 水野空、雲石美月、渡辺沙樹(6年) 晴山葵、平岩大暉、小椋琉華(5年)指導教諭 鈴木加代子

災害に備え

地震を想定し真剣に訓練

白い煙の中で口を押さえて歩くのは、とても大変でした。ハンカチを口から外そうとしてしまいました。

地震などの災害が起きたときは、今回の経験を生かして落ち着いて行動して、自分の命を守りたいです。